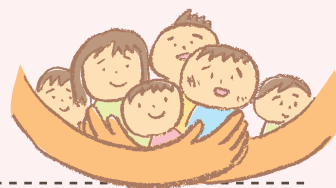




子どもの虐待の 早期発見・防止に薬剤師の力を！



～ 編集長としての思い ～

私は医薬情報おまとめ便サービスの創刊より編集に携わせていただき、2017年から約一年半の産休育休を取り職場復帰いたしました。育休中のテレビニュースでは痛ましい子どもの虐待ニュースが次々と目に飛び込んできました。親になってみて感じるのは、我が子は愛おしい、でもふとした瞬間にどうにもできない育児ストレスを感じることもあり、児童虐待という現実が遠い話ではないということに気づかされました。守られるべき子どもを、周りの大人や社会の力で守ってあげたい、そして孤独やストレスを感じているお母さんお父さんを助けてあげたい、その想いでNPOオレンジリボン運動さんの協力のもと、企画の実施にいたりしました。医薬情報おまとめ便サービスをお届けしている約65,000軒の薬局・病院施設の数をもってすれば、子どもや親の虐待に対する見守りの場所として力を発揮できるはずで、この記事を読んで少しでも児童虐待の早期発見・防止にご協力いただければ幸いです。

子どもの心や体が傷つく行為なら、それは虐待です

「子ども虐待」は、以下の4種類に分類されます。虐待は、それぞれ単独で発生することがありますが、暴力と暴言や脅し、性暴力と暴言や脅し、などが、複雑に絡まって起こる場合もあります。

▶ 身体的虐待

子どもを叩く殴る蹴るなど、身体的な暴行をすること

▶ ネグレクト

食事を与えない、世話をしないなど育児を放棄すること

▶ 心理的虐待

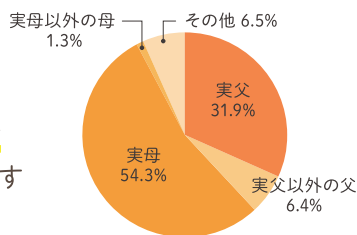
子どもを怒鳴りつけたり無視する、DVを目撃するなど

▶ 性的虐待

性的な行為を強要したり、性行為を見せるなどの虐待をすること

■ 主な虐待者

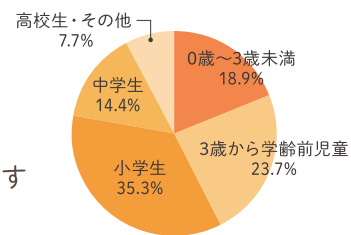
虐待者の
約6割が実母
3割が実父です



虐待者でもっとも多いのは実母で、全体の54.3%を占めており、平成11年度の調査件数では6,750件だったのが、平成25年度調査では4万95件と6倍になっています。実父の割合は31.9%ですから、実父母からの子どもへの虐待が全体の9割近くとなっています。

■ 虐待を受けた子どもの年齢

約4割が
小学校入学前の
小さな子どもたちです



0～3歳未満が18.9%、3歳から学齢前児童23.7%ということで、小学校入学前の子どもの合計が42.6%に及んでいます。また、小学生に対する虐待は平成11年度の34.5%から平成25年度では35.3%、中学生への虐待は平成11年度の10.9%から平成25年度の14.4%へと、増加傾向にあります。

虐待を引き起こす要因は何でしょう

虐待の背景は複雑で、親や養育者が抱える事情がいくつも重なって起こるようです。要因には、以下のようなことが挙げられています。

- 育児に不安がある
- 夫が定職についていない
- 夫が育児に協力してくれない
- 孤立した子育て
- 夫婦の仲が良くない
- 親自身が自分の親との葛藤を抱えている
- 産後うつ病
- 経済的に苦しい
- 虐待の世代間連鎖*
- アルコール依存症 など



*連鎖を起こすのは、虐待を受けた人の約3分の1程度という報告があります。子ども虐待を受けた人のすべてが連鎖を起こすのではなく、その他の多くの人たちは一生懸命に子育てしています。

薬剤師だから気づけるかもしれない



子ども虐待

薬局や病院に来る患者さんや地域の方で、以下の様子に気が付いたときや、近隣住民からの連絡を受けた際は、虐待が疑われます。

不自然な傷や打撲があるのに病院にかかっていない

- 大人によると思われるかみ傷、たばこやアイロンを押し付けた跡など、不自然なケガ
- 転んだ傷ではなく物でたたかれたようなあざが絶えない

季節感のない服や清潔感のない身なり

- 着衣や髪の毛がいつも汚れている
- 兄弟で身なりが異なる
- 異臭がする

表情や親子の様子が不自然

- 表情が乏しい
- おどおどしている
- 親が乱暴な口調で話し、子どもが親を避けようとする

投薬業務での違和感

- 子どもの食事や体重を聞いても答えられない
- 年齢に対しての平均体重より明らかに少ない（過去の記録より一定期間体重が増えていない）
- 病気以外のことで泣き続けてばかりいると言う

服薬フォローアップでの違和感

- フォローアップの電話をかけてもいつも不在
- 服薬後の状況を伺っても回答できない
- 電話口の奥から子どもの異常な泣き声が聞こえる



上記の様子に気づいた時は、ためらわずに電話をお願いします。
厚生労働省が運用しているしくみで、お近くの児童相談所へ24時間繋がります。

児童相談所虐待対応ダイヤル

虐待かな？と思ったら

イチハヤク

「189」へ電話。

通話料無料 ※一部のIP電話からはつながりません。



通告・相談は
匿名で行うことができます
通告・相談した内容に関する秘密は
守られます

オレンジリボン運動について詳しくはコチラ

<http://www.orangeribbon.jp/>



OMATOME

医薬情報おまともサービス